

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2019年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 練習について

- (1) 練習は補助競技場を利用することができる。また、投てき練習は、ウォームアップ場係の指示に従い、安全面に十分に注意すること。練習の際は怪我・事故等のない様に細心の注意を払うこと。主催者は一切責任を負わない。なお、ハンマー投げの練習は、補助競技場で実施できない。
- (2) 雨天走路は原則として開放しない（狭い雨天走路での事故防止が目的のため）。ただし、荒天時のみ、雨天走路をジョグとストレッチに限り開放する場合がある。
- (3) 荷物などは、個人が責任を持ち管理する。

3. 招集について

- (1) 招集所は、400mスタート地点横、競技場出入口付近に設ける。
なお、棒高跳の招集は競技実施場所（バックストレート側ピット）で行う。
- (2) 各種目の招集開始時刻及び招集完了時刻は、プログラムの競技日程に記載してある。
- (3) 招集の方法は次のとおりである。
 - ① 招集完了時刻5分前までに招集所で競技者本人が点呼を受ける。その際、ナンバーカード・スパイクピン・商標の点検を受ける。トラック競技のみ腰ナンバーカードを受け取る。
招集完了時刻にスタート待機場所・フィールド待機場所への移動を開始する。
 - ② 代理人による最終点呼は認めない。2種目以上を同時刻に兼ねて出場する場合には、他種目同時出場届（招集所に用意）を招集所に提出すること。
 - ③ 招集完了時刻に遅れた競技者／チームは、失格（当該種目のみ）として処理する。
 - ④ 競技規則第144条3(b)により、スマートフォン等の機器を競技場に持ち込むことはできない。
 - ⑤ リレー競技はオーダーの変更の有無にかかわらず、その都度オーダー用紙（競技者係に用意）に1チームにつき1部記入して、**招集完了時刻1時間前まで**に招集所に提出すること（リレー競走については170条を参照）。複数チームエントリーしている大学内のチーム間の選手の交代は認めない。
オーダー用紙提出時刻までに提出のない場合は、棄権として処理する。

4. 番組編成及び、走路・競技順について

- (1) トラック競技予選のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の順による。
- (2) トラック競技の準決勝・決勝の組み合わせ及びレーン順は、主催者が公平に番組編成を行い、その結果を番組編成掲示板で行う。
- (3) 次のラウンドへの救済が必要な場合で、レーンが不足する時は、プラスの最後の競技者がその資格を失う。
この処置は、次のラウンドを9名で実施する場合のみとする。

5. 欠場について

- (1) 競技者の欠場は、原則として代表者会議で受け付けたもののみとする。
- (2) 当日やむなく欠場する場合には、不出場届（招集所に用意）を当該校監督署名捺印の上、招集所（競技者係）に提出すること。その届け出た種目に限り欠場を認める。また、リレー競技の欠場については、招集完了時刻までに不出場届（招集所に用意）を招集所（競技者係）に提出すること。オーダー提出前に欠場するチームは、不出場届を招集完了時刻1時間前までに提出すること。

- (3) 不出場届を出さず、レースに出場しなかった場合は当該種目以降リレーを含めたすべての種目の参加を認めない。

6. 競技について

- (1) 競技規則 162 条 7 により、不正スタートをした競技者は 1 回で失格とする。
 (2) スターターの合図は、イングリッシュコマンド (On your marks、Set) とする。
 (3) 競技の打ち切りについて
 (4) 競技会の円滑な運営の都合上、一部の長距離種目に制限時間を設ける。制限時間内に競技が終了できない場合は、制限時間での周回を最後の周回とし、競技を終了させる。

| 種目 | 制限時間 |
|------------|------|
| 男子 5000m | 20 分 |
| 男子 10000m | 40 分 |
| 女子 5000m | 25 分 |
| 女子 10000m | 50 分 |
| 男女 10000mW | 65 分 |

- (5) 男子 100m・200m 予選で準決勝進出を逃した記録上位 27 名を対象にチャレンジ 100m・チャレンジ 200m を実施する。同種目準決勝で決勝進出を逃した記録上位 9 名を対象に B 決勝を実施する。
 男子 400m・800m・400mH・4×100mR 予選で決勝進出を逃した記録上位者を対象にチャレンジ 400m (18 名)・チャレンジ 800m (18 名)・400mH (9 名)・チャレンジ 4×100mR (9 チーム) を実施する。
 男子走幅跳において、ベスト 8 進出を逃した記録上位 8 名を対象にチャレンジ走幅跳 (ベスト 16) を実施する。
 番組編成は、タイム順とする。
 (6) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記の通りとする。

| 種目 | | 練習 | 1 | 2 | 3 | 4 | |
|-----|---|-----------|------|---------|------|------|-----------------|
| 走高跳 | 男 | 1m65/1m90 | 1m70 | 5cm ずつ | 1m80 | 1m85 | 2m00 以後 3cm 刻み |
| | 女 | 1m45/1m55 | 1m50 | 5cm ずつ | 1m60 | 1m65 | 1m65 以後 3cm 刻み |
| 棒高跳 | 男 | 3m80/4m30 | 3m90 | 20cm ずつ | 4m30 | 4m50 | 4m50 以後 10cm 刻み |
| | 女 | 2m40/3m00 | 2m50 | 20cm ずつ | 2m90 | 3m10 | 3m10 以後 10cm 刻み |

- (7) 走高跳及び棒高跳において 1 位が 2 名以上出た場合、同成績の競技者全員が成功した次の高さでもう 1 回試技を行い、同成績者がいずれも成功するか失敗して決定に至らなかった場合は、走高跳は 2 cm、棒高跳は 5 cm バーをそれぞれ上げ下げして試技するものとする (第 181 条 9)。
 (8) 三段跳において、踏切板から砂場の近い方の端までの距離を男子は 12m、女子は 9m とする。

7. 混成競技について

- (1) 1 日目、2 日目の第 1 種目の招集は招集所で行う。
 (2) 各日程において第 2 種目以降の招集は現地で行う。競技進行状況によって、競技開始時刻等、変更になる場合があるので、競技役員の指示に従うこと。また、今大会は混成競技者控え場所は設けない。
 (3) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記の通りとする。

| 種目 | 練習 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | | |
|-----|----|------|------|------|------|------|------|------|------|-----------------|
| 走高跳 | 男 | 1m45 | 1m50 | 1m55 | 1m60 | 1m65 | 1m70 | 1m75 | 1m80 | 1m80 以後 3cm 刻み |
| | 女 | 1m15 | 1m20 | 1m25 | 1m30 | 1m35 | 1m40 | 1m45 | 1m50 | 1m50 以後 3cm 刻み |
| 棒高跳 | | 2m60 | 2m70 | 2m80 | 2m90 | 3m00 | 3m10 | 3m20 | 3m30 | 3m30 以後 10cm 刻み |

8. ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは、当連盟が配布したものを使用すること。ただし、5000m、10000m、3000m S C、10000m Wについては、主催者側で用意したオーダー番号のものを使用する。跳躍種目については、胸、背の一方だけでよい。
- (2) トラック競技に出場する競技者は、招集所にて配布する腰ナンバーカードをパンツの右横やや後方に取り付けること。レース終了後、腰ナンバーカードはフィニッシュ地点にて回収する。

9. 競技用器具について

- (1) 競技用器具は、競技場備え付けのものを使用し、個人の器具を持ち込んではいない。ただし、投てき物及び棒高跳用ポールに限り、個人のものを使用することができる。投てき物については競技開始1時間前に競技役員の検定を受けること。
- (2) 競技場は全天候舗装であるので、スパイクのピンは9mm以下のものを使用すること。ただし、走高跳・やり投では12mm以下のものを使用すること。

10. 抗議について

競技進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、その競技者、または代理人より結果が正式発表（アナウンス）されてから30分以内（同一日に次のラウンドがある場合は15分以内）に、担当総務員を通して口頭で審判長になされなければならない。審判長の裁定に不服の場合は、上訴申立書と預託金1万円を添えて Jury に上告することができる。この預託金は、抗議が受け入れられなかった場合は没収される（競技規則第146条）。

11. 表彰について

- (1) 各種目優勝者には優勝メダルを、3位までの入賞者には賞状を授与する。各種目、競技が終了してから30分後に表彰を行うので、該当するものは表彰係の指示に従うこと。4～8位の賞状は表彰係まで取りに行くこと。
- (2) 表彰の際は、大学指定のジャージとTシャツを着用し、商標名の入った服装は避けること。
- (3) 最優秀選手賞については、今大会中における記録を参考として、大会会長・大会委員長・大会副委員長の3者により決定する。

12. その他

- (1) 競技者の付き添いは一切認めない。従って競技者以外は、トラックならびフィールド内に立ち入ることはできない。
- (2) 大会期間中、競技者は本部前の通行を禁止する。
- (3) ユニフォームは各大学一種類のものに統一して、着用すること。
- (4) 閉会式は必ず出席すること。尚、部旗のある大学は持参すること。
- (5) ゴミは各自持ち帰ること。
- (6) 競技場及び周辺施設の器具などを破損した場合はその大学から弁償代を徴収する。
- (7) 開門・閉門時刻は以下の通りとする。なお、競技の進行により変更の場合もある。

| | (開門時刻) | (閉門時刻) |
|--------------------|--------|--------|
| 第1日目……………10月11日(金) | 7:30 | 17:30 |
| 第2日目……………10月12日(土) | 7:30 | 17:30 |
| 第3日目……………10月13日(日) | 7:30 | 15:00 |

*補助競技場には門限を設けない。

- (8) 集団応援の場所は指定された場所で行うこと。
- (9) 主催者は競技中の発病・負傷に対しては応急処置以外の責任を負わない。

ただし、2019年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。